

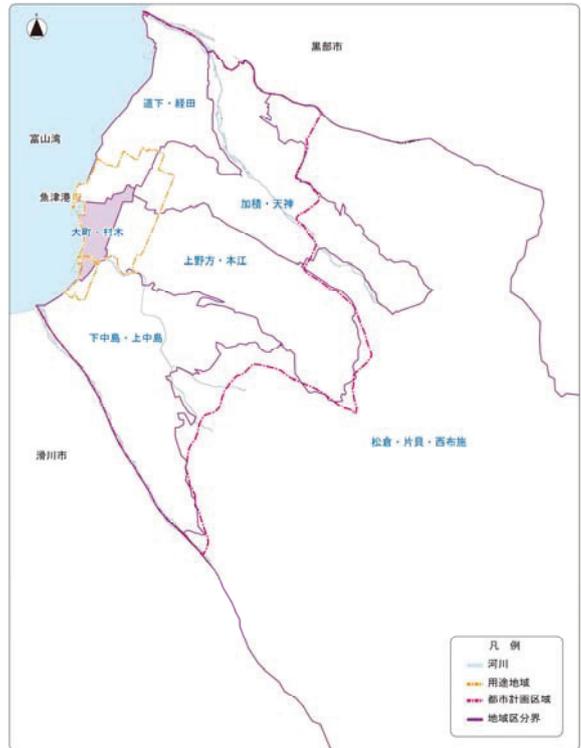
1. 大町・村木地域の現況・課題

(1) 位置・地域概要

本地域は、魚津市の北西・中央部に位置し、西は富山湾に接しています。江戸初期より武家町として、行政、経済、教育文化の諸機能が集積し、魚津市の中心地を形成してきた地域です。商業が主な産業であり、4つの商店街から形成される中心商店街があります。

また、地域の東端を鉄道が走り、富山地方鉄道電鉄魚津駅があります。

大町地区の真成寺町・双葉町・本町一丁目・本町二丁目・新宿・文化町・新角川一丁目・新角川二丁目・上口一丁目・上口二丁目・大字友道町・大字大光寺町・大字田地方町・大字新住吉町、村木地区の中央通り一丁目・中央通り二丁目・金浦町・鴨川町・火の宮町・諏訪町・港町・駅前新町・緑町・村木町・末広町から成り立っています。

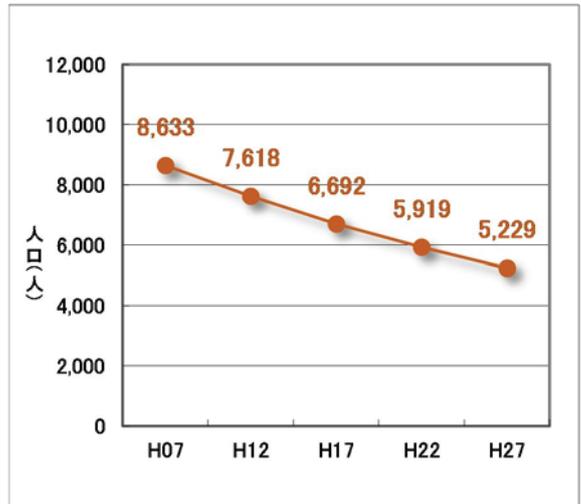


(2) 地域人口

本地域の人口は、平成7年以降、大幅に減少しており、平成27年における65歳以上人口の割合は43.4%と市平均の31.6%より高くなっています。

人口の推移は、平成7年に8,633人であった人口が、平成17年に6,692人、平成27年に5,229人となっており、過去10年間で1,463人、過去20年間で3,404人減少しています。

また、世帯数は平成7年に2,678世帯、平成27年に2,429世帯と減少傾向を示しています。



※平成27年の65歳以上人口割合、世帯数は
住民基本台帳(9月30日)の数値

(3) 土地利用

本地域では、平成 17 年から平成 27 年までの間に、開発行為の許可が必要な開発は行われていません。

(4) 都市計画

本地域全域が、用途地域に指定されています。

都市計画道路 10 路線が地域内を縦横断しており、その内、魚津大光寺線、カーバイド上村木線、馬出町友道線、漁港西魚津駅線に未整備区間があります。

都市公園は、街区公園が 8 箇所あり、開設済面積は 1.76ha、平成 27 年度末人口が 5,559 人であることから地域住民 1 人当たりの公園面積は約 3.17 m² (市平均 15.03 m² : 公園面積/都市計画区域内人口) となっています。

その他、魚津火災復興地区、魚津駅前地区の土地区画整理事業が施行されています。

【都市計画道路】

路線番号	都市計画道路名
3・4・6	魚津臨港線
3・5・8	魚津大光寺線
3・5・9	魚津中央線
3・5・10	カーバイド上村木線
3・5・11	馬出町友道線
3・5・12	魚津本江線
3・6・13	漁港西魚津駅線
3・6・14	村木魚津駅線
3・6・15	魚津駅電鉄魚津駅線
3・6・16	魚津駅新金屋線
計	10 路線

【都市公園】

単位 : ha

番号	種別	名称	公園面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
3	街区	金浦公園	0.21	0.21	S39.9.7 建告第 2636 号
4	//	港町公園	0.24	0.24	//
5	//	村木公園	0.30	0.30	S40.9.9 建告第 2635 号
2.2.6	//	道下公園	0.49	0.49	S56.6.5 市告第 40 号
10	//	下村木 2 号公園	0.21	0.21	S43.12.25 建告第 3725 号
	//	電鉄魚津駅前公園	0.12	0.12	
	//	餌指公園	0.06	0.06	
	//	大町海岸公園	0.13	0.13	
合計		8公園	1.76	1.76	

【土地区画整理事業施行箇所一覧表】

施行地区名	施行面積	施行年度	施行者
魚津火災復興地区	62.5ha	S31~S36	魚津市
魚津駅前地区	33.6ha	S38~S50	//

(5) 住民意向

地区別に将来の生活基盤整備に関する住民意向について、当地域と市全域を比較すると、大町地区、村木地区ともに、「市街地の再開発の促進」に関する割合が大きく上回っており、関心が高いことがわかります。

		魚津市をもっと住み良くするために、どのような生活基盤の整備を要望しますか														
		合計	幹線道路網の整備拡充	生活道路網の整備	公共交通対策	交通安全対策	上・下水道の整備	公園・緑地の整備	駐車場、駐輪場の整備	住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消	市街地のなかの農地と宅地の混在解消	新しい住宅地の整備	市街地の再開発の促進	その他	無回答	
市 全 域	件	1,522	165	537	524	303	70	203	88	78	63	103	448	64	50	
	%	—	10.8	35.3	34.4	19.9	4.6	13.3	5.8	5.1	4.1	6.8	29.4	4.2	3.3	
地区別	大町	件	104	14	33	36	17	4	14	5	4	3	9	39	4	0
		%	—	13.5	31.7	34.6	16.3	3.8	13.5	4.8	3.8	2.9	8.7	37.5	3.8	0.0
	村木	件	112	10	24	41	19	7	13	10	5	3	11	39	5	6
		%	—	8.9	21.4	36.6	17.0	6.3	11.6	8.9	4.5	2.7	9.8	34.8	4.5	5.4

また、当地域では「市長のタウンミーティング」、「第4次魚津市総合計画策定時の地区別ワークショップ」、「意見交換会」、「地域福祉座談会」において、都市計画に関する事項として以下の意見・要望、課題・取組に必要な支援が整理されています。

地区名	市長のタウンミーティングによる意見・要望
大町地区	大町小学校跡地は、市庁舎移転地や歴史を感じさせる観光資源として活用できないか
	空家バンクをもっとアピールして登録を促してはどうか
	北陸新幹線開業後、交通の便が悪くなったが、企業誘致にもっと力を入れてはどうか
村木地区	避難所（村木小学校）に防災資機材を備蓄できないか
	空家情報は、もっと見える形で発信してはどうか
	新幹線工事事務所跡地に、住宅地や住民の憩いの場を整備し、有効活用を図ってはどうか

地区名	第4次総合計画ワークショップによる課題・取組に必要な支援
大町地区	課題 ・若い人達が入って来やすい環境が必要です ・気軽に立ち寄れる店や休憩スペースが必要です
	取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・集って会話ができるスポットづくり（空家を利用したサロン等） ・空家のリフォーム（若い人達に安く住んでもらうため）
村木地区	課題 ・小学校統廃合に伴う、村木小学校の有効活用 ・防犯意識の向上や空家対策等地域の安全対策が必要です ・若者が住みたくなるまちづくりが必要です
	取組に必要な支援（すでに事業化しているもの・支援可能なもの） ・防犯灯の設置 取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・行政施設の誘致 ・駐車場をつくる ・中心商店街やアーケードの老朽化対策 ・通学路の安全対策（防犯カメラの設置）

地区名	意見交換会・地域福祉座談会などによる意見・要望
大町地区	歩いて買い物に行ける店が少ない
	空家、空地を整備してほしい
	商店街がシャッター街になっている
	道路が狭く歩きにくい
	買い物や通院するための交通機関の充実
	小学校統合による小学校跡地の活用
村木地区	津波避難タワー等の設置など、地震津波対策を行ってほしい
	鴨川放水路の早期完成など、ゲリラ豪雨対策を行ってほしい
	市の重要幹線道路（22m道路）に融雪装置を設置してほしい
	防災行政無線難聴地域の解消を進めてほしい
	空家が多い
	中央通りアーケードの問題、シャッター商店街になっている
	村木小学校跡地の活用

(6) 地域の課題

本地域の現況を踏まえて、課題を以下に整理します。

	現 状	課 題
位置・地勢・人口	<ul style="list-style-type: none"> 江戸初期より武家町として、行政、経済、教育文化の諸機能が集積し、魚津市の中心地を形成してきた地域です。 商業が主な産業です。 地域東端を鉄道が走り、富山地方鉄道電鉄魚津駅があります。 人口は、平成7年以降、減少しています（20年間で約3,400人の減少）。 世帯数は、減少しています。 本地域の65歳以上人口の割合は市平均より高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の中心地として、魅力のある市街地の維持 ○中心商店街の活性化など、魅力ある商業・業務空間を創出 ○都市間・地域間を連絡する公共交通施設の利便性向上 ○人口減少に対応する定住環境の向上 ○郊外等から市街地への人口誘導 ○空家・空地の利活用 ○高齢者が快適に暮らせる住環境の形成
土地利用・都市計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年から平成27年までの間に、開発行為の許可が必要な開発は行われていません。 本地域全域が用途地域に指定されています。 都市計画道路10路線が地域内を縦横断しており、その内、魚津大光寺線、カーバイド上村木線、馬出町友道線、漁港西魚津駅線に未整備区間があります。 都市公園は、街区公園が8箇所あり、開設済面積1.76ha、1人当たり公園面積は約3.17㎡です。 魚津火災復興地区、魚津駅前地区の土地区画整理事業が施行されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○土地利用状況を踏まえた用途地域や、防火地域・準防火地域の見直し検討 ○都市構造の変化を踏まえた都市計画道路の見直し検討と計画的な整備 ○住民の憩いの場や災害時の避難場所となる身近な公園の整備 ○住民との協働による公園の維持管理・緑化 ○事業後における良好で安全な住環境の維持

	課 題
住民意向	住民意向調査 大町地区 ○市街地の再開発の促進 ○幹線道路網の整備拡充 ○新しい住宅地の整備 ○公共交通対策 ○公園・緑地の整備 村木地区 ○市街地の再開発の促進 ○駐車場、駐輪場の整備 ○新しい住宅地の整備 ○公共交通対策 ○上・下水道の整備
	市長のタウンミーティング 大町地区 ○市庁舎移転地や歴史を感じさせる観光資源として大町小学校跡地の活用 ○空家バンクのアピール強化、登録の促進 ○交通（鉄道）の利便性向上とあわせた企業誘致の促進 村木地区 ○避難所（村木小学校）での防災資機材の備蓄 ○可視化など、分かりやすい空家情報の提供 ○住宅地や住民の憩いの場として新幹線工事事務所跡地の有効活用
	「第4次魚津市総合計画」策定時の地区別ワークショップ等 大町地区 ○若者が住みたくなるまちづくり ○空家・空地の対策 ○雨水排水の改善 村木地区 ○学校規模適正化推進計画に沿った施設の利活用 ○空家・空地の対策 ○通学路等地域の交通安全対策 ○若者が住みたくなるまちづくり ○雨水排水の改善

※住民意向の課題は、都市計画上の課題を抽出し整理している

2. 大町・村木地域の将来像

基本理念

歩いて暮らせる 魅力的な中心市街地の創出

くらす：歩いて暮らせる市街地を形成します

本地域は、魚津の中心市街地を形成してきた地域であり、行政、経済、文化等の諸機能が集積しています。

今後は、魚津市の中心地として道路、公園、上下水道、民間施設等の既存資本の活用や用途地域及び都市計画道路の見直し等により、密集市街地の解消に向けた計画的な都市の再生や、地震津波、豪雨、雪害などの災害対策による安全性の向上を進めるとともに、中心市街地の魅力を高め、若者などの定住・移住を促進するため、空家・空地の利活用等の計画的な土地利用、住環境の整備等を推進します。また、高齢者が快適に暮らせる住環境の形成、近隣住民の憩いの場や災害時の避難場所となる身近な公園の保全、バリアフリー化した歩道の整備等によって、歩いて暮らすことができる市街地の形成と安心して快適に暮らせる地域づくりを目指します。

みがく：魅力的な商店街を中心とした商業・業務空間を形成します

本地域には、魚津の中心市街地として、中央通り・新宿通り・文化町通り・銀座通りの各商店街が商業地を形成しています。

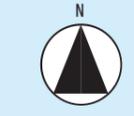
これら魚津の商店街の活性化を目的として、地域間を連絡する幹線道路や魚津市民バス等の公共交通施設、駐車場・駐輪場等の附帯施設の整備によって商店街と連携を図りながら利便性を向上させるとともに、空店舗の活用、空地を活用したコミュニティスペースの確保等により、誰もが利用しやすく魅力的な商業・業務空間の形成を目指します。

うけつぐ：魚津の歴史や文化を市内外に広く発信します

本地域は、江戸初期の武家町時代から現在に至るまで、魚津の中心地として栄えた歴史を持ち、魚津城跡のほか、海岸沿いには本市の三大奇観のしんきろう、埋没林、ホテルイカ群遊海面やユネスコ無形文化遺産に登録されているたてもん祭り、歴史的事件を後世に伝える米騒動発祥の地があり、背後には魚津大火からの復興を果たした市街地が形成されています。

これら魚津の歴史や文化は、市内外へ広く発信するとともに、小学校統合後の小学校跡地の活用等を検討し、観光拠点としての開発を進めながら、保全・継承を目指します。

3. 大町・村木地域の基本方針



【土】小学校統合による村木小学校の利活用を図ります

【下】市街地中心部を流れる2級河川鴨川の治水機能を改善する放水路の整備を推進します

【環】親しみのある鴨川の護岸利活用などや水質の保全・改善を目指します

【景】古くからの町並みを残す鴨川周辺の河川景観の保全を目指します

【道】しんきろうロードから中心市街地を通り、魚津ICまでを連絡する（都）魚津本江線の延伸整備を目指します

【景】自然の神秘とロマンを感じさせる美しい海岸景観の保全を目指します

【景】本市の歩みを物語る貴重な財産として米騒動発祥の地、万燈台、魚津城跡の保全・継承を目指します

【土】小学校統合による大町小学校の利活用を図ります

【公】緑の拠点となる緑化重点地区の整備を目指します

【環】親しみのある角川の護岸利活用などや水質の保全・改善を目指します

【景】周辺の眺望に配慮した角川の河川景観の保全を目指します

【道】しんきろうロードと国道8号を連絡し、市街地南側の外郭道路となる（仮）住吉湾岸線の整備を目指します

【道】市街地内への円滑な交通を誘導する（都）魚津大光寺線の整備を目指します



【道（都）】魚津駅電鉄魚津駅線の延伸整備を推進します

【道】しんきろうロードから市街地を連絡する（都）カーバイド上村木線の延伸及び再整備を推進します

【景】まちの顔となる魚津駅周辺において、建築協定等の締結等を促し、良好な街並み景観の創出を目指します

【土】中心市街地を利用しやすい駐車場整備及び歩道のネットワーク化を目指します

【土】空店舗・空地を活用した魅力ある商業・業務空間の創出を目指します

【景】住民等の日常生活空間の場として、電鉄魚津駅及び近隣各商店街周辺の親しみ・賑わいのある街並み景観の創出を目指します

【道（都）】馬出町友道線の整備と、しんきろうロードへの延伸整備を推進します

凡例	
	既成住宅地区
	商業・業務集積地区
	産業交流地区
	都市内工業地区
	都市公園
	緑化重点地区
	幹線道路（緑化軸）
	海岸景観エリア
	街なか景観拠点
	にぎわい景観拠点
	歴史的景観拠点
	景観核
	公共公益施設
	道路
	道路（未整備）
	あいの風とやま鉄道
	富山地方鉄道本線
	河川
	地域界
[方針凡例]	
	土地利用の方針
	道路交通施設の整備方針
	公園緑地施設の整備方針
	下水道及び河川施設の整備方針
	自然環境保全及び都市環境形成の方針
	都市景観形成の方針
	都市防災の方針